

# NAKA

公益社団法人 名古屋中法人会・広報誌 [なか]

2017

夏

VOL.164



## 2017年 夏号 目次

DIARY.....	1
第6回通常総会・表彰式.....	2
総会記念講演会.....	6
ジャーナリスト コリア・レポート編集長 辺 真一氏	
名古屋市内9法人会合同講演会.....	10
政治評論家 加藤 清隆氏	
《お時間拝借》.....	14
御菓子所 山中 遠山 浩司氏	
《ものづくり名古屋》.....	18
合資会社森川メッキ 代表社員 森川 成行氏	
《健やかサークル》.....	22
緑黄色野菜	
《ものづくり愛知の至宝》.....	22
松坂屋コレクション⑩ 網干に梅竹文字模様小袖	
《和菓子の魅力》.....	23
御菓子所 山中	
《会員増強運動へのご協力とお願い》.....	24
《こだわり見学記》.....	26
陽子線治療センター	
《シリーズこの人》.....	28
言葉の泉代表 日本劇作家協会員 山川 里海氏	
みんなに笑顔を クラウンがやってきた.....	32
《ダカラオモシロイNAKA》.....	34
・女性部会 初春の健康講座	
・青年部会 市内合同研修会事業	
・橘支部、栄西支部事業	
・中部善意銀行への預託	
・講演会 ラジオパーソナリティー つボイノリオ氏	
・栄東・栄西・名城支部合同事業 栄ミナミ音楽祭	
《社長のやる気サポート》.....	41
・役員セミナー	
・新入社員研修会	
・経営研究会、青年部会、女性部会総会	
《お知らせ》.....	46
法人事業概要説明書	
《新入会員の紹介》.....	47
《会員サロン》.....	48
住吉の語り部となりたい⑫	
料亭つたも 主人 深田 正雄氏	
《行事メモ》.....	51



表紙の人

言葉の泉代表 日本劇作家協会員

やまかわ さとみ  
山川 里海氏

### 【プロフィール】

言葉の泉代表  
日本劇作家協会員  
本名：野口 久  
劇作ペンネーム：山川 里海  
昭和36(1961)年10月17日  
愛知県津島市生まれ  
愛知県立中村高校、  
静岡県立静岡女子大学卒  
家族：夫、子ども3人

33歳でスキルス系胃がん摘出、奇跡的に助かり、児童文学の執筆開始。地域の魅力発信をテーマとする市民劇や新作狂言の脚本を手掛ける。土木学会・環境省・日本河川協会などから受賞多数。

jun. 6

- 1 月 経営研究会・第2回幹事会  
月ひめ 18:00
- 3 日・4 日 松原支部事業  
「前塚町天王祭り」  
前塚公園
- 5 日 熱田まつり・尚武祭  
税務連絡協議会・定期総会  
名古屋中租税教育推進協議会・設立総会  
名古屋中税務署会議室 13:30  
東海青連協・常任理事&部会長会議  
大同生命ビル 15:00
- 9 日 第29回全国中の会・名古屋大会  
名古屋科学館 13:30
- 10 日 青年部会・社会貢献事業  
「宇宙×子供プロジェクト」  
～宇宙に関わる仕事の未来～  
作文コンテスト表彰式  
講演会：宇宙に関わる仕事のお話し  
プラネタリウム観覧  
名古屋科学館 13:30
- 18 日～15 日 税務研修会  
「平成29年度税制改正の実務ポイント」  
昭和ビル大ホール 13:30  
講師：税理士法人 名南経営  
理事長 安藤 教嗣氏
- 15 日 《みんなに笑顔をクラウンがやって来た！》  
学校法人自由ヶ丘学園  
第二自由ヶ丘幼稚園 10:00
- 16 日 一般社団法人 愛知県法人会連合会  
第5回通常総会  
名鉄ニューグランドホテル 15:30
- 18 日 「父の日」
- 19 日 《みんなに笑顔をクラウンがやって来た！》  
学校法人自由ヶ丘学園  
自由ヶ丘幼稚園 10:00
- 20 日 《みんなに笑顔をクラウンがやって来た！》  
学校法人自由ヶ丘学園  
第三自由ヶ丘幼稚園 10:00
- 21 日 夏至  
全法連・評議員会&理事会  
帝国ホテル 13:00
- 22 日 青年部会・第3回正副部会長会議  
事務局会議室 18:30  
女性部会・新緑税務講座  
テーマ：「国税組織における自分の役割」  
～荒井威彦の歩む道～  
講師：名古屋中税務署法人課税第一部門  
統括国税調査官 荒井 威彦氏  
名古屋観光ホテル 11:00
- 23 日 東海青連協・定時総会  
ホテルキャッスルプラザ 14:00
- 26 日 「青連協・親睦ゴルフ」  
新南愛知カントリー美浜コース 8:00
- 27 日 青年部会・税務委員会  
「知っておきたい税務会計」  
第一部：税務研修会  
「誤りやすい主な事例」  
講師：名古屋中税務署法人課税第一部門  
統括国税調査官 荒井 威彦氏  
第二部：税務講演会  
「企業が知らない税務調査のポイント」  
講師：名古屋中税務署  
副署長 伊藤 志朗氏  
昭和ビル9階ホール 13:00  
新栄支部・事業委員会  
事務局会議室 10:30
- 28 日 「暮らしの中の税金展」実行委員会  
「税務なか」編集委員会  
「れんらくぶくる事業」実行委員会  
名古屋中税務署会議室 10:00
- 29 日 県連・専務理事会議  
大同生命ビル 14:00

jul. 7

- 3 日 財務省人事異動予告日
- 4 日 東部三支部合同事業  
(新栄・老松・千早)  
地域探訪「世界遺産・上賀茂  
神社～国宝本殿特別参拝」
- 5 日 青年部会・第3回役員会  
東京第一ホテル錦 18:30
- 6 日 「景気討論会」  
主催：日本経済新聞社  
名古屋東急ホテル 13:30
- 7 日 ヒタ・小暑
- 9 日 大相撲名古屋場所  
財務省人事異動発令日  
第13回・第16回・広報委員会  
事務局会議室 10:30  
青年部会・第一委員会  
第2回オリエンテーション  
りきゅう名古屋駅店  
新任税務署幹部・挨拶  
名古屋中税務署 13:30
- 14 日 海の日  
決算期別研修会(7～9月期)  
昭和ビル大ホール 13:30
- 17 日 県連・厚生委員会  
大同生命ビル 14:00  
女性部会・第3回理事会  
事務局会議室 10:30
- 19 日 経営研究会・第1回事業～錦三夜祭～  
「行ってみたい歴史のまち名古屋」  
講師：朝日神社 宮司  
武田 正彦氏  
朝日神社境内 17:30
- 21 日 県連・事業委員会  
大同生命ビル 15:00
- 25 日 土用の丑  
第5回・事業委員会  
事務局会議室 10:30
- 28 日 県連・総務委員会  
大同生命ビル 15:00
- 31 日 県連・広報委員会  
大同生命ビル 15:00

aug. 8

- 3 日 県連・税制委員会  
大同生命ビル 15:00  
第6回・理事懇談会  
東京第一ホテル錦 16:00
- 5 日 「中青会・親睦ゴルフ」  
みずなみカントリークラブ  
広島原爆の日
- 6 日 立春
- 7 日 老松支部・協賛事業  
「老松公園夏祭り」  
老松公園
- 8 日 県連・第16回理事会、理事委員会合同懇談会  
ウェスティンナゴヤキャッスル 16:00
- 9 日 長崎原爆の日
- 10 日 県連・組織委員会  
大同生命ビル 15:00
- 11 日 山の日
- 15 日 全国戦没者追悼式
- 19 日・20 日 御園・錦三支部・協賛  
第66回・広小路夏まつり  
朝日神社・広小路通り界限
- 22 日 経営研究会・第3回幹事会  
囲み屋 18:00

- 23 日 県連・女連協常任理事会  
大同生命ビル会議室 12:00  
青年部会・第二委員会第1回事業  
《チーム対抗ボウリングで築く会員相互の絆》  
スポーツ名古屋 18:30
- 24 日 青年部会・第4回正副部会長会議  
事務局会議室 18:30
- 25 日～27 日 第10回・にっぽんど真ん中祭
- 31 日 県連・専務理事会議  
大同生命ビル 14:00

sep. 9

- 1 日～3 日 越中八尾おわら風の盆
- 1 日 二百十日・防災の日・関東大震災
- 4 日 全法連・財務委員会  
全法連会館 13:00
- 5 日 経営研究会・第2回事業  
《経営理念の具現化と  
ブランドビジネスの展開》  
講師：ネットヨタ東名古屋(株)  
代表取締役会長 山口 忍氏
- 6 日 青年部会・第4回役員会  
東京第一ホテル錦 18:30  
東海法人会連合会・第29回定時総会  
名鉄グランドホテル 16:00
- 6 日、10 日、11 日、12 日、10 月 1 日、12 日 延べ6日  
「第23回・やさしい法人税セミナー」  
講師：税理士 小原 めぐみ氏  
昭和ビル大ホール 13:30
- 8 日 第10回・厚生委員会&組織委員会&正  
副支部長会議(案)  
喜多八 16:30
- 13 日 県連・青連協常任理事&部会長会議  
ホテルキャッスルプラザ 15:00
- 14 日 女性部会・第4回理事会  
事務局会議室 10:30
- 16 日 青年部会・第一委員会第1回事業  
《家族を通じて深まる絆》  
久屋大通庭園フラリエ 11:30
- 18 日 敬老の日
- 23 日 秋分の日  
女性部会・社会貢献事業  
《第4回・なごやジャズ  
フェスティバル!》  
演奏：フリーヒルズジャズ  
オーケストラ  
中電ホール 13:30

oct. 10

- 3 日 「初心者のための源泉所得税研修会」  
中日パレス 13:30
- 4 日 十五夜  
青連協・情報交換会  
ホテルキャッスルプラザ 14:00
- 5 日 第34回・法人会全国大会福井大会  
《恐竜王国 福井へようこそ》  
福井産業会館 14:00
- 9 日 体育の日  
「第9回・名古屋ニコニコランド2017」  
～ココロもカラダも元気な名古屋～  
久屋大通公園 10:00
- 11 日 市内9法人会合同講演会  
講師：トヨタ自動車  
代表取締役会長  
内山田 竹志氏  
日本特殊陶業市民会館 13:30



名古屋東急ホテル3F ヴェルサイユの間

## 地域企業の健全な発展

公益社団法人 名古屋中法人会の第6回通常総会の開会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。本日はご来賓の皆様には、ご多用中のところ、ご臨席たまわりまして誠に有難うございます。

また、会員の皆様におかれましては、お忙しいなかをご出席いただきまして厚く御礼申し上げます。

日頃は、会の運営と事業活動に対し、ひとかたならぬご支援とご協力をたまわり、高い席からではございますが、この場をお借りして、重ねて御礼申し上げます。

さて、平成28年の日本経済は概ね堅調に推移し、米国のトランプ新大統領誕生後は円安、株安の流れとなり輸出企業を中心に業績の改善が見られました。

その中において、東海地域経済は、自動車及び部品を中心として輸出が緩やかに増加すると共に幅広い業種で合理化・効率化の設備投資が増加し、基調としては緩やかに拡大しております。

本年も世界的な製造業の復調を受け、引き続き輸出・設備投資の増加が見込め、緩やかな成長が期待されます。

名古屋中法人会は、早いもので公益社団法人へ移行し5年が過ぎようとしております。平成28年度の税制・税務研修事業、社会貢献事業など、計画したすべての事業を順調に実施し、多くの企業、市民の方に参加して頂きました。皆様のご協力・ご支援大変有難うございました。

さて、法人会の課題であります、会員増強につきましては会員皆様が一人社を、また支部役員と推進員とのセット勧誘を柱に加入





議長 岡谷 篤一氏



開会の言葉  
総務担当副会長 荒川 慎太郎氏



議案説明  
専務理事 清水 正彌氏



監査報告  
監事 奥村 和敏氏



来賓祝辞  
名古屋中税務署長 野口 洋氏



閉会の言葉  
事業担当副会長 高橋 公比古氏



総司会  
総務委員 森田 乾嗣氏

# 地域社会への貢献を推進

勸奨を実施しましたが、会員数の減少は止む止めがならず、平成29年3月31日現在の加入会員数2,828社と昨年同期より104社減少し、加入率30.8%となりました。

厳しい現状の中、今後も魅力ある法人会活動を推進し、地道な会員増強活動を実施してまいりたいと考えておりますので是非、会員の皆様のご支援・ご協力をお願いします。

迎えました平成29年度におきましても、公益法人としての使命を達成する為、本部・支部・部会・関係機関との連携を密にし、地域企業の健全な発展並びに地域社会への貢献を目的とした活動を推進して参ります。

また、私ども「名古屋中法人会」といたしましては、税のオピニオンリーダーとして、経済社会の構造変化に対応した税制の構築に向けて、引き続き積極的に提言を行ってまいります。

そして、魅力ある法人会を目指し、努力してまいりますので、ご来賓、ならびに会員の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、会員各社のますますのご繁栄と、本日ご出席の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は宜しく申し上げます。

会長あいさつ 岡谷 篤一



情報交換会

開会あいさつ  
広報担当副会長  
武藤 俊明氏



乾杯の発声  
名古屋中税務署副署長  
伊藤 志朗氏



司会  
女性部会部会長  
眞野 綾子さん

# 会長表彰

## 加入勧奨功労者感謝状(個人)



代表  
遠藤 隆一郎氏

	法 人 名	受賞者名
加入 勧奨 功労	AIU損害保険(株)	宮 坂 彰 良
	(株)保険相談センター	村 上 実
	(株)アド・ライブ	遠藤 隆一郎
	(株)エントリー	大塚 真次郎
	(株)コメ兵	石 原 司 郎
	大同生命保険(株)名古屋支社	林 恵美子

(敬称略・順不同)

## 支部・部会活動功労者感謝状



代表  
田中 義明氏

	法 人 名	受賞者名
支部活動	(株)美阜屋	石 樽 隆 典
青年部会	タクテックス(株)	田 中 義 明
	(株)西寛	西 田 達 矢
女性部会	舟橋観光(株)	舟橋 あつ子
	(株)アドバンス	近藤 真奈美
経営研究会	(株)山本屋総本家 (株)cokore	大 原 良 生 平 木 聖 三

(敬称略・順不同)

## 役員功労者感謝状



代表  
服部 信一郎氏

	法 人 名	受賞者名
役員 定年 功労者	(株)アクアス	大河内 健二
	大同メタル工業(株)	判 治 誠 吾
	(株)服部商店	服部 信一郎
	(株)杉本組	杉 本 仁 至
	(株)岐阜音	小 川 音 三
	舟橋観光(株)	舟 橋 政 男

(敬称略・順不同)



## 事業協力法人感謝状



代表  
橋本 昭一氏 (代理 安立 正人氏)

## 愛知県法人会連合会会長表彰



会長感謝状  
大河内 健二氏

支部	法人名
名城 (1社)	(一社)名古屋銀行協会
錦三 (5社)	(株)廣潤社 ミヤキ(株) 平野興産(株) 錦成ビル(株) 名古屋ビジネスサービス(株)
御園 (3社)	三和商工(株) (株)フクモト 中日興業(株)
栄西 (2社)	岡谷鋼機(株) 岡谷サービス(株)
栄東 (1社)	(株)セントラルジャパン
新栄 (1社)	T&T都市開発(有)
老松 (3社)	北嶋工業(株) 東海廣告(株) フルエング(株)
大須 (1社)	愛知文紙事務器卸(協)
橋 (4社)	(有)いわの 名港木材(株) (有)木村メンテナンス (株)名港
平和 (2社)	(株)愛知コンサルタント 矢島技研(株)
正木 (2社)	(株)高木製作所 (株)高木運輸
松原 (1社)	ビューテック東海(株)

(敬称略・順不同)

みんなで成功させよう!

会員増強運動



けんたくん



# 日本をとりまく国際情勢

講師／ジャーナリスト コリア・レポート編集長

ビヨン  
ジンイル  
辺真一氏



第6回通常総会 記念講演会



日時／平成29年5月30日(火)16時～17時30分 会場／名古屋東急ホテル

## 日中、日韓、日韓関係

トランプ政権はまだ腰が定まっていません。下手するとトランプ大統領は「ロシアゲート」疑惑で弾劾という可能性もあります。

というのは50%以上の国民の支持を得て就任した韓国初の女性大統領、朴槿恵（パク・クネ）氏が国会で弾劾され、憲法裁判所で罷免され収監されました。昨年の今頃には考えられないことです。国家元首でありながら、何の役職も権限もない普通のおばさんである崔順実（チェ・スンシル）の指示に従っていたのです。国民は呆れ返りました。

日韓合意ですが、日本の「国と国が約束したものを韓国が反故にするのはいかがなものか」という気持ちはわかりますが、韓国の国民の7、8割がこの合意は正当性がないと考えています。

日中問題は、日本と中国との貿易量はNo.1です。観光客も多いです。爆買いで日本はずいぶん潤ったと聞いています。ビジネス的には中国はお得意様ですが、領土、歴史認識、靖国神社の問題などのトラブルがあるのは辛いところです。知恵を働かせ、工夫をこらして問題が起こらないように外交ができないかと思っていますが、それは難しいです。世論調査では、双方とも相手の国が嫌いだという結果になっているからです。



日韓関係は、北方四島の領土問題を棚上げして経済で協力していく方向に向かっています。戦後72年経ちました。ロシアはガスを含めたエネルギーをもっていますから、資源のない日本にとっては、いつまでもロシアと対立関係にあるというのは国益の観点からは望ましくありません。

現実的には対韓も対中も対口も、アプローチして感情を押し殺して中身をとるのも大事だと思います。

## 韓国と日本の関係あれこれ

私は在日韓国人です。私は日本で育ちましたが、体の中にはキムチのDNAが流れているので、皆様よりは韓国人のことを知っていると思います。

文在寅（ムン・ジェイン）大統領は「反日で親北」「日本にとって最も望ましくない大統領が誕生した」「これから北朝鮮問題で日韓の足並みが乱れるので困った」と、日本での評判が悪いですね。

しかし4、5年前韓国も同じような経験をしました。安倍氏が総理になったとき、「韓国にとって最も望ましくない右翼の総理が誕生した」と当時の韓国人は思ったのです。韓国人は5年我慢しました。反日の文大統領を皆様も5年我慢してください。左翼の大統領と右翼の総理の関係がこれから始まるのです。気になるのは文大統領が日韓合意を守るのか。慰安婦像の移転（私は撤去という言葉を使いません）は、文大統領なら5年あれば慰安婦像を設置した女性団体を説得できるのではないかと考えています。文大統領とこの像を設置した団体は親しいのです。私は、慰安婦像を大使館や総領事館の前ではなく、公園など他の場所に移転したなら一件落着くと思います。

1998年、金大中氏が大統領になったとき、日本政府は戦々恐々でした。

というのも1973年、野党の政治家であった金大中氏が東京のホテルから拉致されたとき、本来なら金大中氏は日本に引き渡されなくてはならなかったのに、適当なところで政治決着して韓国に引き渡され、ひどい目に会い、死刑判決まで受けました。その人が大統領になったので、報復されるのではないかという声が渦巻いたのです。しかし金大中大統領になったとたんに日韓関係は良くなりました。それまで日本の映画や歌は韓国で禁止されていましたが解禁され、韓流ブームになっていきました。日韓関係が最も良好なときでした。

そういうこともありますから、文大統領には期待していただきたいと思います。

韓国は反省することがあります。私の世代ですと金嬉老事件があります。在日韓国人の金嬉老（キム・ヒロ）が、暴力団抗争で何人か射殺して逃走、静岡県県又峡の旅館に立てこもり人質をとりました。警察と睨み合いしていたとき、日本のメディアがインタビューしました。彼は「自分がこんな目に遇ったのは、日本の差別や蔑視のせいだ」と言ったのです。それで、どれだけ在日韓国人は片身の狭い思いをしたか。日本で信頼を勝ち取るために、自分の居場所を確保するために苦労して、やっと培った在日韓国人の信頼をこの男は水の泡にしたのです。捕まって韓国に強制送還されたとき、韓国メディアや国民は、犯罪者である彼をヒーローにしたのです。それもおかしいと思いました。

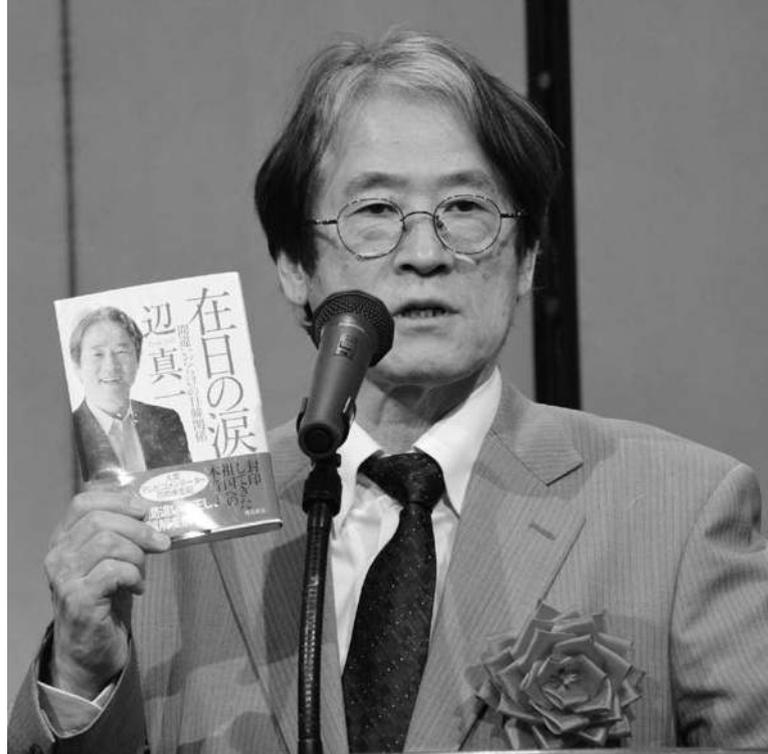
5、6年前に韓国の日本大使館に火を放った放火魔がいました。この男は靖国神社に放火したのですが失敗して、韓国で日本の大使館に放火したのです。韓国で服役を終えて出てきたので、今度は日本の法でも裁くと日本政府は引き渡しを韓国政府に要求しました。そうしたら中国が、彼は韓国系中国人でしたから「この男は義憤にかられて火を放った政治犯」だと引き渡しを要求、日本は中国に引き渡したのです。

韓国が日本と国交を結んだのは1965年、韓国が中国と国交を結んだのは1992年。日本と韓国とは犯人引き渡し協定があり、中国と韓国にはないのですから、日本に引き渡すのが当然ですが、韓国にとって日本より中国のほうが経済的にお客様、ビジネス的に無視できないので中国を優先させて渡したのは言語道断と思います。

大韓航空機爆破事件の実行犯の金賢姫（キム・ヒョンヒ）と自決した金勝一（キム・スンイル）がバーレーン空港で捕まりました。2人は日本のパスポートをもっていました。日本の国際的イメージの失墜に繋がりがかねない事件ですから、日本は真相を究明して汚名を晴らすために2人の引き渡しを要求しましたが、韓国が2人は北朝鮮の工作員だと主張、結果は日本が韓国に譲りました。

## 日本に向けられた4つの矢（ミサイル）

北朝鮮の核とミサイルの動きですが、もう少ししたらICBM（大陸間弾道ミサイル）の開発が成功するようです。ICBMはアメリカとロシアと中国の3カ国しか持っていま



せん。北朝鮮は経済的には世界の最低に近い国なのに、核とミサイルは先進国のレベルになってきたのです。

マチス国防長官はレッドラインを設けなくなりました。ティラーソン国務長官の「アメリカを信用して、核とミサイルを置いて交渉の場に出てきてもらいたい」に続いて、トランプ大統領は「特定の条件のもとで対話する用意がある」と言いました。その回答が北朝鮮の一連のミサイル発射です。北朝鮮はアメリカを少しも信用していないのです。

北朝鮮は、国民生活を犠牲にしてまで核とミサイルの開発に邁進してきたのですから援助や協力で止まるという話ではありません。

去年2月24日に朝鮮人民軍最高司令部で、「朝鮮半島有事の際の第一次攻撃目標は韓国の大統領官邸と韓国内の施設・基地、第二次攻撃目標は太平洋上の米軍基地（グアムと在日米軍基地）とアメリカ本土である」と重大声明を出しました。それに則って去年3月から北朝鮮のミサイル発射が始まり、韓国の釜山（プサン）、浦項（ポハン）、すなわち日本から出陣する艦船が停泊する港を叩ける500mのスカッドミサイルを連射して成功させました。

第二次攻撃目標の在日米軍基地に向けられた「ノドン」、「スカッドER」、潜水艦弾道ミサイル「北極星1」、準中距離弾道ミサイル「北極星2型」という日本に向けられた4本の矢を北朝鮮は手にしているのです。さらにはグアムを狙ったムスダンという中距離弾道ミサイルも成功させています。最後はワシントン攻撃大陸間弾道ミサイルICBMです。金正恩朝鮮労働党委員長は「最終段階に入った」と言いました。

核実験は、2006年の1回目長崎に落とされたプルトニウム型の実験、2009年は広島に落とされたウラン型の実験、2013年に小型化の実験。去年の1月には水爆と称する実験。9月に過去最大の10キロトンの実験。次の6回目で最後の実験になります。弘前大学の先生のシミュレーションによると核弾頭が1発落ちれば40万人が即死するというこ

す。核もミサイルも最終段階に入ったのです。いま、その一歩手前、それを止めるのは至難の業です。

## アメリカは北朝鮮を叩くか？

ICBMのボタンに北朝鮮が手をかけると、トランプ大統領にとってレッドラインだと思います。

トランプ大統領はいま支持率が低下しています。ブッシュパパは湾岸戦争、ジュニアブッシュはイラク戦争を起こして二人とも支持率が急上昇しました。同じ手を打つ恐れがあります。

参考事例があります。温和なクリントン大統領は、1994年6月16日ホワイトハウスでの安全保障会議で北朝鮮を空爆するが悩みました。北朝鮮が核開発を止めないのです。ペリー国防長官は「いつかアメリカに向けて発射されるかも知れない核を北朝鮮が持つことを放置するか、戦争のリスクを介してでも北朝鮮の核を阻止するか」、どちらか一方を選択するように進言しました。クリントン大統領は決断する1カ月前にペンタゴンの幹部を呼んで、万が一北朝鮮と一戦を交えた場合、我が方にどれだけの被害が発生するか報告させました。「開戦90日で、米軍は5万2千人、韓国軍は49万人死者を出します。戦費は610億ドルを越えますが、最後は勝ちます」という報告でしたが、開戦を決断しました。韓国には事前通告しませんでした。この空爆は奇襲攻撃が前提だからです。結局戦争には至りませんでした。カーター元大統領が平壤に行き、金日成に直談判して事を収めたのです。

いま安倍政権は、何かあれば日本に相談があるはずだとか、事前協議があるはずと言っていますが、私は信じていません。

金正恩委員長は「絶対絶命にならない限り使わない」と言っていますが、裏を返せば、敗戦寸前になると使うということです。



いま米韓がやっている合同軍事演習は、防御・防衛ではなく、特殊部隊が参加して奇襲作戦やピンポイント攻撃などの攻撃用の訓練をしています。今度火が噴けば、アメリカは501号作戦に則って平壤を制圧して金正恩政権を駆除し、韓国主導で朝鮮半島を統一します。金正恩政権は絶対絶命です。

2006年に私は拉致問題で中国に行き北朝鮮の面々と談判しました。そのとき彼らは言いました。「シェパードとスピッツのケンカを見たことがあるか。もしかしてスピッツはやられる前にシェパードの足を噛むかも知れない。そのスピッツにウイルスがあれば、噛まれた足はどうなりますか」の言葉に身の毛がよだちました。ウイルスは核爆弾です。

足がやられても心臓や胴体は何ともない。トランプ大統領がそう考えてゴーサインを出すかも知れないという心配を私はしています。

いま北朝鮮は通常兵力で韓国を木っ端みじんにするほどの兵力を持っています。では核兵器をどこで使うのか。最近、北朝鮮はイヤなことを言い始めました。以前は在日米軍基地でしたが、今は日本本土の核攻撃も辞さないという非常に過激になってきています。

先日、某新聞の調査によると、日本国民の65%がトランプ政権の北朝鮮に対する軍事行使、外科手術を支持していますが、返り血、火の粉を浴びるのを覚悟しての支持なのでしょう。私は警鐘を鳴らします。

本来なら日本が北朝鮮からミサイルで狙われる理由はないのですが、残念なことに朝鮮半島で事が起これば、日米安保条約が発動されて、日本は後方支援でアメリカに協力します。そうなると沖縄、岩国、三沢、横須賀は北朝鮮の攻撃対象になり、先制攻撃されます。そういう状況が差し迫っています。

北朝鮮が提示した核とミサイル開発を一時的にストップする条件は2つです。「8月の米韓合同演習を止める」「北朝鮮に対する制裁をゆるめる」。

7月に韓国の大統領がワシントンを訪ねます。その行方を見ていただきたいと思います。

## 安倍総理に期待

私は、日本は冷静に止めに入ってもらいたいと願っています。間違っても予測不能のトランプ大統領と統制不能の金正恩委員長のチキンレースに我々の命を委ねるべきではないと思います。

小泉元総理の最大の評価は拉致問題を動かしたことです。それだけではありません。2002年9月の金正日総書記との会談で「日朝交渉中はミサイルを発射しない」と約束して2006年までの3年10カ月間止めたのです。そのとき「ブッシュ大統領と腹を割って話をしたいので、繋いで欲しい」と依頼された小泉さんは、ブッシュ大統領に懸命に繋ぎましたが耳を貸しませんでした。それで2006年7月にテポドンを発射、さらに10月に史上初の核実験に踏み切ったのです。そうしたらブッシュ大統領は11月に、「金正日が核を放棄するなら平和協定の調印式に同席してもいい」と言ったのですが遅かったのです。ブッシュ大統領が小泉さんの説得に応じていれば、拉致問題も核・ミサイル問題もここまでこじれることはなかったと思います。そういう役割を安倍総理にやってもらいたいです。

北朝鮮は中国を信用していませんし、韓国と深入りすると東ドイツの二の舞いになり吸収統合されてしまうという不安があります。そうすると北朝鮮にとって一番安心なのは日本です。安倍総理にはいざというときには、平和的解決のために乗り出してもらいたいと思っています。

※この記事は平成29年5月30日の講演を要約したものです。

文責／公益社団法人 名古屋中法人会